

支所名	祁答院支所	支所長名	徳丸幸男
-----	-------	------	------

支所の 経営資源	構成人員	職員	嘱託	計
		計	30人	19人

①支所の使命 (組織の存在価値)	支所は、地域住民に親しまれ、信頼され、身近に感じられるような存在であるべきことから、以下のことを支所の使命とする。 (1) スピーディで質の高い公共サービスを提供すること。 (2) 市民との協働・参画で地域力の向上を目指すこと。 (3) 安全・安心の地域社会の形成を図ること。 (4) 本庁との連携を密にし、潤滑な事務事業を遂行すること。	②組織目標像	【支所の目標像】 (1) 窓口での対応は市民に分かりやすく、要望については速やかな解決に向けた対応を図る。 (2) 各地区コミと連携しながら、情報の共有化を図り地域活性化を目指す。 (3) 地域一体となった関係機関との連携を図りながら、安心安全に努める。 (4) 本庁関係機関と密に情報を共有し、市民サービスの向上に努める。
---------------------	---	--------	--

平成23年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況
共生・協働の推進 【市民生活課】	(1) 地区コミ協会長連絡会及びコミ主事研修会の定期的な開催	① 地区コミ協会長連絡会を隔月(年6回)開催 ② コミ主事連絡会・研修会を毎月(年12回)開催 ③ 地区コミ・自治会によるコミュニティマイスター制度の推進	○ ①5・7・9月に地区コミュニティ協議会会長・主事合同連絡会を開催 3回開催 ○ ② 会長との合同会議を含め、7回開催 △ ③上記会議等で、制度の推進(上半期実績なし)	
安心安全な地域づくり 【市民生活課】 【産業建設課】	(1) 災害に強い地域づくり及び防災意識の向上	① 自主防災組織の編成が難しい小規模自治会については、隣接の自治会等2自治会での編成促進  ② 急傾斜地崩壊対策事業実施(上手中武地区)	△ ①自治会長連絡会議にて編成促進を依頼(上半期実績なし)  △ ② 9月現地調査 10月設計積算 11月発注予定	

支 所 経 営 方 針

	<p>(2) 子供や高齢者が暮らしやすい美しいまちづくり</p>	<p>① 防災行政無線や支所広報紙による確かな広報の実施                  ② 交通安全教育の実施                  (幼稚園・高齢者教育開催)</p>	<p>○ ① 防災行政無線広報 69回                  (内子供・高齢者向け広報 6回)                  事例 ・各種検診の広報                  ・法令講習会の広報                  ・交通安全教育の広報                  ○ ② 「ひまわり号」 2箇所                  (大妻小学校)                  (祁答院幼稚園)</p>	
		<p>③ ゴミ分別・環境美化運動の推進                  ④ ゴールド集落(黒木地区2自治会)への支援及び該当地区コミュニティ協議会との連携                  (矢立・中自治会)                  ⑤ 市内横断シャトルバスの利用促進(東郷・祁答院コース, 樋脇・入来コース)                  ⑥ 大村団地・早馬分譲住宅団地の販売促進</p>	<p>○ ③ リサイクル推進員研修会の開催 6月23日                  32名中27名出席                  ○ ④ 2自治会及び黒木地区コミに対し業務支援及び各補助金を助成                  △ ⑤ 利用者数                  東郷・祁答院コース 5,198人                  樋脇・入来コース 5,767人                  △ ⑥ 両団地に大型案内板設置                  大村団地1区画分譲販売                  9月20日契約 335.15㎡</p>	

支 所 経 営 方 針

	<p>(3) 安全安心な地域づくり</p>	<p>① 職員による定期的な地域安全パトロールの実施（毎週水曜日）                  ② 青パトとの連携による防犯活動の啓発（母の会との連携）                  ③ 市道の道路改良事業の実施（上手地区 木原小牧線）                  ④ 地区コミからの県道路線改良推進要望は、本庁・県と一体となった取り組みの促進                  ⑤ 地籍調査管内現地踏査の推進（本年度全ての現地踏査終了を目指す）</p>	<p>○ ① 青パトによる職員管内パトロール 19回実施                  ○ ② 毎月20日「母の会」との連携による啓発 6回実施                  ○ ③ 9月27日発注済 L=160m                  ○ ④ 県道下手山田帖佐線地元説明会（県主催）9月27日実地 地権者 6名参加                  ○ ⑤ 6月下旬より一筆地調査開始 進捗率60%（蘭牟田地区）</p>	
	<p>(4) 健康で美しいまちづくり</p>	<p>① 路傍花壇及び教育機関の花いっぱい運動の推進（20箇所）                  ② スポーツ行事や文化活動への積極的参加の促進</p>	<p>○ ① 夏の花、マリーゴールドの苗（約2,300本） 21団体へ配付                  ○ ② 7/6 地域市民体育大会 706人                  8/6 市ソフトボール大会 25人                  7/10 市バレーボール大会 13人 参加者延べ 744人</p>	
	<p>(5) 青少年が健全で、生涯学習に積極的なまちづくり</p>	<p>① 地区における青少年育成活動や生涯学習の推進                  ② 地域に伝わる伝統芸能の伝承（9団体）</p>	<p>○ ① 愛護委員等によるいむた池納涼花火大会のパトロール実施。（21名参加）                  高齢者大学講座5回、公民館講座（楽しい園芸・花の寄せ植え・パソコン・ボールペン筆ペン・フラダンス）                  ○ ② 7/31 馬頃尾棒踊り &lt;6月燈披露&gt;                  8/13 黒木鷹踊り &lt;夏祭り披露&gt;</p>	

支 所 経 営 方 針

				8/21 麓西虚無僧踊り <日枝神社大祭披露> 9/25 藺牟田小三尺棒踊り <運動会で披露>	
スピーディで質の高いサービスの提供 【市民生活課】 【産業建設課】	(1) 本庁及び各課の情報の共有化	① 毎週支所内会議の開催 ② 毎月課長等・グループ長合同会議の開催 ③ 安全衛生委員会を定期的に開催	○	① 毎週火曜日支所内会議の開催 25回開催 ② 支所長・課長・各G長を含めた会議 6回開催 ③ 2回開催(委員10名) 6月21日・8月23日	
	(2) 職員の意識改革・資質向上	① サービス・マナーアップ職場研修会の実施  ② 男女共同参画の推進 ③ ボランティア活動への参加 毎月1回支所周辺の清掃の実施	△	① 県主催の職員研修会に参加 東日本大震災への派遣1名 (福島県いわき市)  △ ② 市主催の講演会等に参加(年2回)上半期では実績なし ○ ③ 毎月第3水曜日 17:20 から支所周辺の清掃実施 6回	
観 光 の 推 進 【産業建設課】 【市民生活課】	(1) 各種イベントへの観光客誘致及び職員の積極的な参加(藺牟田池公園における3イベント開催)	① いむた池納涼花火大会開催 8月 7日(日) 毎年同日 ② いむた池外輪山 七峰登山大会開催 11月27日(日) ③ いむた池梅マラソン大会開催 2月26日(日)	○	① 8月7日実施 観客 約7,000人 △ ② 9月募集開始 参加者募集締切日10/28日迄  △ ③ 9月企画会 10月28日実行委員会開催	

支 所 経 営 方 針

	<p>(2) 指定管理受託団体への支援</p>	<p>① 各種イベントへの支援 (ロード51 特産品販売所)</p> <p>② 活性化策の支援 (世界一郷水車売店)</p> <p>③ 竜仙館の指定管理者導入</p>	<p>○ ① ロード51 特産品販売所 8周年記念祭 4月9日 ほおずき市7月16・17日 (支所支援職員 5人)</p> <p>○ ② 竜仙郷活性化委員会 2回 先進地研修 9月14日 (宮崎県延岡市) 13人参加</p> <p>○ ③ 7月16日から営業開始 (利用者数 15,368人)</p>	
	<p>(3) いむた池愛好会活動支援 (会員25名)</p>	<p>① 蘭牟田池の原風景を後世に残すための各種取組の支援 (ビオトープの管理委託) (課題点の研修会開催) (水車周辺の花いっぱい運動)</p>	<p>○ ① 蘭牟田池生態系研修準備会の開催 7月12日 ・専門家と地元関係者の現地調査の実施 9月4日 ・ビオトープ管理委託についてはいむた池愛好会が受託することとなっているが、下半期の受託契約で調整 ・水車周辺の花植え替え サルビア・日々草 5月24日</p>	
	<p>(4) 蘭牟田池県立自然公園の自然環境保全の推進</p>	<p>① 外来魚の釣り人へのマナーアップ啓蒙</p> <p>② 自然保護推進員、公園管理人との連携強化 (大迫良行・溝口利則)</p> <p>③ 第22回全国トンボ市民サミット薩摩川内大会の支援</p>	<p>○ ① アケムでの外来魚買取り ブルーギル10円 ブラックバス、ラゲョ20円 9月末実績 49,090円</p> <p>○ ② 業務報告書で課題・問題点が発生した場合は、その都度現地に出向き情報共有化を図っている。</p> <p>○ ③ 23年5月14日～15日開催</p>	

支 所 経 営 方 針

		(平成23年5月14日～15日)	開催場所:いこいの村藺牟田池を中心とし、15都府県から延べ約500名参加 支所職員協賛金77,000円 大会支援サポーターとして支所職員7名参加	
	(5) グリーン・ツーリズムの推進及び受入農家の拡大 (21戸加入)	① グリーン・ツーリズム受入 第1回 5/18～5/19 伊丹市立西中学校 35名 第2回 5/19～5/20 宇部市立厚南中学校 9名 第3回 9/27～9/29 大阪市立淀商業高校 38名 第4回 10/20 日本大学櫻丘高校 42名 第5回 12/11～12/12 広島市立城南中学校 35名 第6回 12/14～12/15 新潟県立加茂農林高校 40名 ②新規受入農家の拡大	○ ① グリーン・ツーリズム受入 第1回 5/18～5/19 伊丹市立西中学校 35名 第2回 5/19～5/20 宇部市立厚南中学校 9名 第3回 9/27～9/29 大阪市立淀商業高校 39名 第4回 10/20(予定) 日本大学櫻丘高校 44名 第5回 12/11～12/12(予定) 広島市立城南中学校 35名 第6回 12/14～12/15(予定) 新潟県立加茂農林高校 40名 ○ ② 新規受入登録農家 2戸 登録農家合計23戸	
農林畜産業の振興 【産業建設課】	(1) 県営中山間地域総合整備事業による農業生産基盤及び農村環境基盤整備の推進 (総額10億円)	① 農業用排水施設の整備  ② 農道改良事業の推進	○ ① 滝間用水路 (L=300m) 9月発注済 宇都前堰外3堰 測量設計済 11月発注予定 赤田1号堰外5堰測量 9月発注済 ○ ② 諏訪ノ原農道 (L=460m) 9月発注済	

	(2) 畜産の推進 (畜産農家158戸)	① 畜産経営基盤整備による畜舎の整備及び畑地造成 (上手2件・黒木1件) ② 口蹄疫対策の予防	○ ① 3件何れも発注済み 8月発注済 (上手2件・黒木1件) ○ ② 7月家畜自主防疫班による全戸現状確認の実施	
支所との連携 【教育課】	祁答院教育課は、支所との連携を図りながら、各振興策を支援して参ります。			
⑦年度中間総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年5月14日～15日にかけて開催された「第22回全国トンボ市民サミット薩摩川内大会」を蘭牟田池県立自然公園にて開催し、全国から多数の参加を得て、環境保護及び生物多様性の研修を行い、本市のPRも積極的にいき大変な好評を得たところである。特に支援サポーター員として支所職員の協力にはご足労をいただき感謝するところである。</li> <li>・上半期に掲げた重点項目については、一部を除いてほぼ予定通りの進捗率となっている。</li> <li>・本年度は全国的な災害が多い中に、東日本大震災への派遣要請により当支所からも1名の派遣を行い、災害への支援も行ったところである。</li> <li>・特に懸案となっていた分譲住宅の販売について、1件の販売実績があったことは大変喜ばしいことである。今後分譲価格の見直しも含めて調整を図っていきたい。</li> <li>・昨年11月に永年の懸案であった川内駅周辺への直通バス「市内横断シャトルバス」が運行されたが、1便当たりの乗車が5人弱と少なく、職員の出張での利用等や駐車場所の再検証、更には本庁と協議しながら市民へのアンケートも取り利用促進を図る必要がある。今後も定期的なPR（チラシ等）を継続して行っていきたい。</li> <li>・黒木診療所においては、27年間の永きに亘り勤務していただいた石田医師が高齢のため本年6月30日を以って勇退され、後任として祁答院診療所の新井医師が7月から毎週水曜日午前中の診療を行い地域医療に貢献されている。しかしながら患者の増加が見込めない中に今後運営面としての課題も残っている。</li> <li>・交通安全運転に対する職員への啓発及び市民への安全運転に対する啓発活動を行い、死亡事故0日が9月末で2,619日となっており、今後も更なる啓発活動を行ってまいりたい。</li> <li>・これまでグリーンツーリズム受け入れを21年度から開始し8回実施しているが、本年度は上半期で3回、農家との体験学習及びふれあい活動を通じて本市及び祁答院地域のPR活動も行っている、今後更に新規農家登録を促進したい。</li> <li>・ソーメン流し「竜仙館」の指定管理については、本年3月末で業者が撤退されたが、本年度から営業経営方式を上半期間限定として新しい指定管理者が運営を開始された。10月以降は期限付きの営業であるが運営は順調である。</li> </ul>			

平成23年度

# 支 所 経 営 方 針

薩摩川内市

⑨年度末総括